

ふれあい vol. 119

社協は社会福祉協議会の略称です。



特集 社協と災害ボランティアセンター

- 平成28年度 高齢者調査
- 社協会費について（報告）
- ふれあいいきいきサロンめぐり vol.3
- 「孫育て講座」を開催

この広報紙は赤い羽根共同募金助成金・福祉基金・
善意の募金配分金の一部を使用して作成しています。



社会福祉協議会と 災害ボランティアセンター

大規模災害時
に備えて

奈良県防災総合訓練のなかでの 災害ボランティアセンター模擬訓練 !!

【表紙写真】

10月23日に上野公園で奈良県防災総合訓練が実施され、五條市社協は、奈良県社協及び奈良県と協力し「災害ボランティアセンター模擬訓練」を実施しました。

当日は14名の方がボランティア役として参加。

災害ボランティアセンター模擬訓練の概要



① ボランティア受付

- 8:00 集合、災害ボランティアセンターへ移動
- 8:20 ボランティア受付、待機
- 9:00 全体オリエンテーション
活動グループ分け
- 9:40 グループごとのオリエンテーション
活動資機材の受け渡し
送り出し (ペット同伴訓練、炊き出し訓練へ)
- 10:00 ボランティア活動
- 11:20 活動報告

ボランティアの方に活動の流れと注意事項を説明。活動内容にあわせた2つのグループ分けも慣れていないと以外と手間取りました。



② オリエンテーション



炊き出し訓練でのボランティア活動の様子。最初は普段と勝手が違うことに戸惑っていたボランティアさんもすぐに慣れた手つきで活動していました。

③ ボランティア活動 - 1 (炊き出し訓練)

ペット同伴者が避難所に避難してきたことを想定した訓練。ボランティアの方はペットハウスの準備やペットの散歩などを手伝いました。



③ ボランティア活動 - 2 (ペット同伴訓練)



各グループリーダーからの活動報告。活動中の様子や気になる点などを報告いただき、模擬訓練は終了となりました。

④ 活動報告

災害時にボランティア活動をサポート!!

災害ボランティアセンターとは

台風等による風水害や地震、津波などの災害が発生した場合、被災地ではボランティアによる支援活動が大きな力を発揮します。そのような活動が被災地で円滑に進められるよう、災害時に設置される拠点が、災害ボランティアセンターです。近年は、大規模災害時にはほとんどの被災地に設置され、集まるボランティアとともに復興支援に尽力しています。

運営の担い手

社会福祉協議会はすべての市区町村に設置されており、日頃から住民組織と関係が深いことから、一般的には、被災した地域の社会福祉協議会が中心となり、ボランティア活動の関係者やNPO、行政と協働して担うことが多いです。

災害ボランティアセンターの活動内容

- 【被災地ニーズの把握】**
チラシの配布による要望受付や戸別訪問による聞き取りを通じて、家の片付けや避難所でのお手伝いなど、被災者の困りごとを集めます。
- 【ボランティアの受け入れ】**
災害ボランティアセンターの立ち上げや被災地の状況、必要な支援を情報発信し、活動を希望するボランティアの受付を行います。
- 【オリエンテーション・活動機材の貸出】**
活動現場での注意事項を説明します。また活動に必要な道具を準備して貸し出します。
- 【活動のマッチング】**
集めたニーズ（手伝ってほしいこと）にあわせて、必要なボランティアの人数や活動場所を調整し、作業に必要なグループを作ります。
- 【現場での活動】**
現場にボランティアを送り出し、ボランティアが家屋や避難所等で活動を行います。
- 【活動報告と再調整】**
ボランティアから活動で気付いたことや要望などについて報告を受けます。また、作業途中のニーズを整理して再調整します。

災害時に求められるボランティア活動例



■物資の仕分け



■屋内外の片付



■被災住民の安否確認



■炊き出し



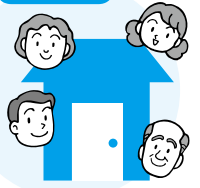
■高齢者・障害者等への支援

ボランティア活動に行くときは

被災地の負担にならないよう情報収集を行い、事前準備をしっかりとしましょう。また、ボランティアを“してあげる”ではなく、「被災者を第一に、協力して一緒に復興を目指す」という気持ちが大切です。

平成28年度

高齢者調査



しあわせに暮らせる
まなびの里をめぐろう

高齢者調査は、市内の65歳以上の高齢者のみで構成されている世帯（ひとりぐらし・ふたりぐらし以上）、ねたきり、認知症の方を対象に、毎年10月に社会福祉協議会が民生委員にご協力をいただき実数を調査し、高齢者施策の基本資料とすることを目的としています。

地域には高齢者だけでお住まいの方が増えており、気にかかろう関係づくりが重要となっています。そのため、一人ひとりがその現状に気づき、日頃から地域で見守り・支えあうことが大切です。

今年の結果から

今年度の調査結果は、高齢者のみの世帯が例年以上に増えています。また、地区によつて高齢化率に大きな差がある状態も続いています。

このようなことに活用します

- 民生委員活動
- 緊急時の災害支援
- 警察の防犯活動
- 救急キット配布
- ひとり暮らし老人等見守り支援事業

等

高齢化率について考えよう！

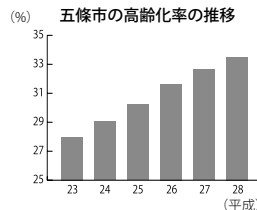


高齢化率とは、65歳以上の高齢者が人口に対してどれだけの割合を占めているかという数字で、21%を超えると超高齢社会といわれています。

全国 26.7% (平成27年10月現在)
奈良県 28.1% (//)
五條市 32.7% (//)
33.6% (平成28年10月現在)

高齢者の増加ピークとなる「団塊の世代」が高齢者層の仲間入りした2014年に全国の高齢化率は25.0%を超え、今年はなんと27.3%に達しました。特に女性の高齢化率は30.1%であり、女性の10人に3人は高齢者という時代になりました。

また、五條市の高齢化率は全国や奈良県に比べて高い数値であり、これからも平均寿命の延びや少子化による若年人口の減少により、高齢化率が高くなっていくことが予想されます。そのため、今後ますます助けあいの地域づくりが重要となります。



高齢者調査集計 平成28年10月1日現在

地区名	高齢化率 (%)	高齢者のみの世帯				ねたきり (人)	
		ひとりぐらし (世帯)		ふたりぐらし以上 (世帯)		28年度	前年度比
		28年度	前年度比	28年度	前年度比		
本町	45.71	83	▲2	62	7	1	0
中央	44.75	46	3	17	5	0	0
五條東	32.04	58	▲2	18	3	0	0
須恵岡口	49.25	89	▲3	98	3	5	0
新町	40.16	46	▲4	30	2	2	▲3
二見	35.81	159	11	127	▲4	7	2
野原	36.89	130	▲2	121	1	14	8
宇智	34.13	172	6	190	25	9	2
牧野	33.42	64	8	78	3	10	7
田園	18.29	58	3	89	9	3	0
阪合部	40.28	83	3	100	11	9	▲2
北宇智	27.47	94	5	116	4	1	1
南宇智	37.05	53	▲1	67	3	6	1
南阿太	31.92	11	0	9	1	2	▲1
大阿太	37.48	17	0	32	2	2	0
西吉野	44.42	201	▲9	154	9	3	▲1
大塔	60.53	43	▲3	33	▲6	1	0
合計	33.63	1,407	13	1,341	78	75	14

平成28年度 社協会費へのご協力ありがとうございました

会費（年額1口）	会員数・口数		金額
個人会員（500円）	9,252口		4,626,000円
賛助会員（5,000円）	27団体	42口	210,000円
構成団体会員（5,000円）	11団体	40口	200,000円
合 計			5,100,000円

社協会員は随時募集中
 ・個人会員 五〇〇円（年額一口）
 ・賛助会員 五、〇〇〇円（年額一口）



社協会員とは

みんなが福祉の担い手であるという思いと住民参加による地域福祉活動を展開し「福祉のまちづくり」を推進していくため、住民のみなさま、団体・企業のみなさまに社協活動に賛同してくださる会員を募集し、会費のご協力をお願いしています。

会費のつかいみち

地域福祉活動のために

- ・地区社会福祉協議会へ活動財源として助成
- ・ふれあい事業などの地区社協行事への助成
- ・声の広報、ふれあい文通、福祉機器の貸出、ふれあい相談の実施 など

福祉教育のために

- ・小中学生を対象としたふれあい講座（施設での福祉体験）の実施
- ・大塔ふくし体験のつどいの実施 など

ボランティア活動のために

- ・ボランティアの育成、活動支援、活動保険加入
- ・各種ボランティア研修会の開催
- ・エコキャップ・古切手の各種収集活動の実施 など

歯ッピーいい息サロン

ふれあいいきいきサロンめぐりVol.3

二見地区

昨年出来たばかりのこのサロン。代表でもある歯科衛生士の植田さんにお話をうかがいました。

「自分の出来ることを活かして何か地域で出来たら、この思いで始めました。歯は全身の健康とも密接に関係しているので、お口の健康づくりを通して心身をリフレッシュしてもうえれば嬉しいですね。」

お口の健康づくりのためのサロンというのですが、集まった参加者はおしゃべりに夢中で「お口がすっきりするといつもより話はずむのよ。」と軽快なトークを繰り広げます。

子どもも大人もみんなが集えるサロンにするのが目標だそうで、名前のとおり歯も心もハッピーになれるサロンでした。

【歯ッピーいい息サロン】

場所／二見2丁目5-1

二見公民館内

日時／毎月第1土曜日

午後1時30分～午後3時



植田さんによる口腔ケアやお口のストレッチ、ミニゲームなど、内容は日替わりです。



コーヒータイムではいつも笑い声が響きます。



お口の健康づくりで
心も体もリフレッシュ

ふれあいいきいきサロンとは？

近所で気軽に集える場所をつくることを通じて、地域の「仲間づくり」「出会いの場づくり」「健康づくり」をするための活動です。

定期的に集まることで顔なじみの輪を広げ、いきいきとした楽しい生活を送ることを目的としています。

「孫育て講座」を開催しました!!

11/21(月)牧野公民館で、NPO法人ファザーリング・ジャパンの和田憲明さんを講師に迎え、「現代遊びと昔遊び」をテーマに講演いただきました。

参加された方々は、昔の子育てと現在の子育ての違いについて学び、新聞紙を使った紙鉄砲づくりなどを体験したあと、座談会形式のワークショップで孫に伝えたい昔遊びについて語り合い、お孫さんとの接し方に新たな発見があったのではないのでしょうか。

講習中お孫さんのことを楽しげに話す参加者の姿がとても印象的で、本講習を終えたみなさまが、お孫さんや近所の子ども達と交流する機会を増やし、「地域のおじいちゃん、おばあちゃん」として活躍されることを期待しています。さあ、おじいちゃん、おばあちゃん、出番ですよ!!



平成28年度 善意の募金へのご協力
ありがとうございました

募金額 3,197,630円

本年度も、五條市自治連合会のご協力のもと、住民の皆さまから募金へのご協力をいただき、ありがとうございました。

集められた募金は、善意銀行を通じて配分し、地区社協や市社協の財源として、地区敬老会・世代間交流・見守り活動・福祉教育・福祉啓発・ボランティア活動など、地域福祉活動のために使われます。



ひとりで悩まずお気軽に

無料

こんなことで困っていませんか?

家族のこと、子育てのこと、介護のこと、近所とのトラブル、行政に関すること、人権に関する事など、どんなことでも気軽にご相談ください。

個人情報厳守し、さまざまな分野の相談員がお悩み解決のお手伝いをします。

【面接相談】 福祉センター(新町3丁目3-2)

実 施 日	相 談 員
月～金曜日 9時～17時	相談コーディネーター
火曜日 13時～16時	家事・民事相談員 ※要予約
水曜日 13時～16時	行政相談委員
木曜日 13時～16時	人権擁護委員

【電話相談】 ☎24-2200(五條本所)

☎33-0294(西吉野・大塔支所)

■受付日時 9:00～17:00(月～金)

※17時以降と休館日は、留守番電話

ご寄付いただきありがとうございました

(敬称略) 平成28年8月18日～平成28年11月15日(単位:円)

善意銀行

金 額	氏 名	住 所	摘 要
25,000	生蓮寺世話人会和讃講	二見7丁目4-7	地藏盆チャリティーバザー収益金
3,197,630	五條市自治連合会		平成28年度「善意の募金」任意預託募金
10,000	西日本鉄道OB会五條支部 代表 畠山博充	今井1丁目3-9	青空市場の収益金

福祉基金…積み立てられた預金の利子を地域福祉の活動資金として役立てます。
善意銀行…皆さんの善意を災害見舞金など市民の福祉向上に役立てます。

地域福祉の情報はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.shakyo.or.jp/hp/1250/>

五條市社会福祉協議会

検索



ふれあいネットワーク



発行/社会福祉法人五條市社会福祉協議会

〒637-0043 奈良県五條市新町3丁目3-2

TEL 0747-24-4152

FAX 0747-24-4153